

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 28 年度

市町村名	鴻巣市			
提案事業名	県央地域の定住促進・子育てナビ事業			
事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度			
事業の必要性、目的	県央地域の各市町は、少子化及び高齢化が進行する将来について、地域の活力を維持・活性化させるため、年齢の若い世帯（子育て世帯）の転入・定住の促進を図ることが必要である。そこで、県央地域の各市町と協働して、今回の事業を実施するものである。年齢の若い世帯（子育て世帯）に対し、県央地域の各市町の「子育てのしやすさ」の魅力を伝えること等により、転入・定住の促進を図ることを目的とする。			
成果指標	（成果を検証する指標） 県央地域への年少人口の転入超過数（0歳～14歳）200人（平成29年）			
	（成果検証の具体的な方法） 総務省「住民基本台帳人口移動報告」による測定			
	（上記の指標を設定した理由） 当該事業は若い世帯（子育て世帯）の転入・定住の促進を図ることが目的としている。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （H25～27年平均）	217人	目標値 （H29年時点）	239人（10%増）
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
住民への公表方法 及び特記事項				

【成果指標と構成事業の関連性】

平成28年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 定住促進×パパママ応援子育て便利スポット等発信事業	ソフト 県央地域の各市町と協働し、年齢の若い世帯（子育て世帯）の転入・定住の促進を図ることを目的として、ガイドブックを作成・配布するものである。作成に当たっては、子育てをする者を応援する観点から子育てをする者の視点による。ガイドブックの内容は子育てをする者が子育てのために子を連れて行く施設（公園）等を紹介するものとし、以て「子育てのしやすさ」の魅力を発信するものとする。なお、配布に当たっては、定住促進という目的を踏まえ、宅地建物取引業者の店舗等で配布する。	1,592
② 「県央エリアアドバイザー」養成事業	ソフト 県央地域の各市町と協働し、年齢の若い世帯（子育て世帯）の転入・定住の促進を図ることを目的として、宅地建物取引業に従事する者を対象に養成講座を実施するものである。養成講座は、受講者が、子育て関係の取組や子育てに利用できる便利スポット等、子育て関連の最近の情報・知識を学ぶこと等を内容とする。養成講座を修了した者に対して、「『県央エリアアドバイザー』講座修了証」を発行する。なお、①の事業と可能な限り連動させる。	0
合計		1,592

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	①の事業については、高い効果が発現できるよう、ノウハウを有する事業者を公募しプレゼンテーションを経て決定・委託する。①及び②の事業については、これまで県央地域の事業に関わり持つことで高い知見を得た方々にコラムや講師等を依頼して内容を充実させたい。また、地域の金融機関が当該事業とコラボレーションした事業を展開する予定である。
成果指標の達成見込み	県央地域では人口が減少するとともに高齢化が進展するトレンドにある。こうした厳しい環境にはあるが、当該事業による目標を達成したい。